

# 本会議での議案の討論

●議案第109号

## 第三次湖南省総合計画の策定について

寺元 正幸議員

反対

第二次湖南省総合計画が策定され5年が経過しようとしています。当時の議会は議決までに約6カ月各常任委員会で審議しています。今回第三次総合計画の審議は総務常任委員会のみ、採決に約1カ月の審議での本案に反対します。

上野 顕介議員

賛成

総合計画は地方自治の最上位計画であり国県の交付金や補助を受けるに必要な計画であり、市民アンケート等の公正な手続きを踏んでおり、これからの本市住民が必要である施策を反映できる内容であることから賛成する。

坂田 政富議員

反対

東庁舎の建て替え前提にある総合計画は財政的、資源、環境、気候危機、暮らしを守る方向が示されていない。公共施設の統廃合の計画や小規模多機能自治で自助共助の強化で公助がありません。議案109号に反対します。



●議案第112号

## 湖南省議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例及び湖南省特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

曾我部 一帆議員

賛成

感情ではなく人事院勧告を客観的基準とし、0.05月分の限定的かつ令和7年12月期末手当に限った引き上げである。恣意的な判断を排したうえで、他の自治体との均衡や公平性、透明性を確保する措置のため賛成。

東良 一成議員

反対

市民の皆様は、物価高騰や実質賃金の伸び悩みという厳しい生活状況に直面しており、「なぜ今、議員の期末手当が上がるのか」という疑問があがる事は自然であり、この点に対する十分な説明が尽くされているとは言えません。以上、市民生活の実態と乖離しているという点で本議案に反対いたします。

上野 顕介議員

賛成

インフレ状況で実質手当額は変わる。状況次第で感覚的に対応するのではなく基準があるべきである。令和2年は人事院勧告によって引き下げの議案を可決しており人事院勧告に準拠することは合理的であるから賛成する。

藤川 みゆき議員

反対

本市は、この5年で人口が1千人減少していますが予算は増え、特に扶助費(福祉関連予算)が約11億円増額しています。年金だけで生活する人や困窮世帯が増えている現状での期末手当の引き上げには反対いたします。

堀田 繁樹議員

賛成

国家公務員と同様、給与など勤務条件の改定に自ら関与できない公務員のための制度に準じて改正を実施してきました。常勤特別職の報酬も同様であります。あわせて、人事院勧告は尊重するべきです。

寺元 正幸議員

反対

昨今の各種諸物価の高騰はとどまるところを知らず、一方で賃金、年金は見合う金額には上がらず、庶民の生活は厳しい状況に陥っています。今回の議員、特別職手当改定は市民の理解を得る事は出来ません。本案は反対します。

奥村 幹郎議員

賛成

改正の根拠は条例で定められており、「改革」「報酬改正」「市民感情」等のご意見をこの改正反対の理由付けにすることは、そもそも違う！と考えます。

坂田 政富議員

反対

市民の暮らしはコメ価格5キロ4321円と高止まり、コメはじめ食料品、光熱費、ガソリン等物価高は止まらず、家計を圧迫しています。市民の暮らしを第一と考える議員としては、議案第112号に反対します。